

エディット・カナ・ドゥ・シジ: 雨、蒸気、スピード (2007)

Édith Canat de Chizy: Pluie, Vapeur, Vitesse (2007)

金子仁美: 連歌 II (1999)

Hitomi Kaneko: Renga 2 pour flute, clarinette, percussion, piano, violon et violoncelle

カミーユ・ペパン: リラエ (2017)

Camille Pepin: Lyræ (2017)

平川加恵: 静謐な日常における諧謔についての考察 (2013)

Kae Hirakawa: Discussion of joke of in quiet daily life

リザ・ウット: Sextuor (2020)

Lisa Heute: Sextuor (2020)

第50回 定期演奏会—日仏女流作曲家の競演





東京シンフォニエッタ



2021.
12.23 [THU]

19:00開演 (18:30開場)
東京文化会館 小ホール

全席自由 一般 ¥4,000 学生 ¥2,000

主催	一般社団法人東京シンフォニエッタ
助成	芸術文化振興基金  公益財団法人 NOMURA 野村財団  公益財団法人 花王 芸術・科学財団 
協力	フランス女性作曲家協会 

音楽監督 板倉康明
フルート 齋藤和志 齋藤光晴
オーボエ 梅枝理恵 辻 功 渡辺康之
クラリネット 川越あさみ 佐藤和歌子 西澤春代
ファゴット 河府有紀 長 哲也
サクソフォーン 小串俊寿 小沼理恵▲
ホルン 有馬純晴 岸上 穰 中島大之
トランペット 坂井俊博 高橋 敦
トロンボーン 西岡 基
チューバ 渡辺 功
パーカッション 石崎陽子 松倉利之 和田光世
ピアノ 藤原亜美
ハープ 木村茉莉
アコーディオン 大田智美▲
ヴァイオリン 梅原真希子 海和伸子 山本千鶴 吉成とも子
ヴィオラ 百武由紀 守山 ひかる 吉田 篤
チェロ 宇田川元子 高麗正史 花崎 薫
コントラバス 那須野直裕 長谷川信久 吉田 秀
エレクトロニクス 有馬純寿
事務局 多田逸左久
▲=エキストラ奏者

東京シンフォニエッタは1994年の創立以来、幅広い視点で現代の音楽作品を紹介してきている。第50回定期演奏会では、「compositrice」女性作曲家の作品のみに焦点を当てたプログラムを企画している。このプログラムについては、東京シンフォニエッタの活動に注目し、過去にも共同プロジェクトを行なって協力関係にある、フランス政府の機関「Institut Français」(フランス政府の外務省、文化省、教育省の共同により設立された政府機関。フランスの文化発信、語学教育で重要な役割を果たして全世界に展開している)の現代音楽担当であるMathilde BEZARD女史から、板倉に女性作曲家に焦点を当てた企画についての提案があり、実現へ向けての計画立案が2017年より始まった。言うまでもなく、フランスは政府機関として「Ministere charge de l'egalite entre les hommes et les femmes, de la diversite et l'egalite des chances」(略称として男女平等省)が設置されているように、男女に限らず人間の平等については国家的に取り組んでいることは以前から知られている。そして、東京シンフォニエッタも、2007年には「女性=女声」と題し、女声作曲家の作品のみによる演奏会を行い、音楽界で話題となったことを敷衍しての企画であることは言うまでもない。女性作曲家と男性作曲家の相違は、生理学的差異からもたらされる声域の差による内的聴取の際の音域の差異のみである。そして、その音楽的内容について、性差による有意差は全く見られないことは明らかであり、現在の社会状況を鑑みても、明示的に音楽界に示し、問題提起をしていくことは現代の音楽家にとって必要不可欠な責務であることは疑いの無いところであり、フランス側とも合意に達し、作曲家の選定作業に入った。作曲家の選定においては、敢えて、人脈、出版社のルートを用いずに、S A C E M(フランス著作権協会)の協力を得て、フランスで最近活発な活動をはじめ、「Presences compositrices」(フランス女性作曲家協会)の推薦を得て、可能な限り、フランスの現状を反映した客観的な人選がなされるように準備してきた。

その結果、同協会から2名の1990年代生まれの作曲家、Camille PEPIN, Lisa HEUTEを紹介された。この人選は東京シンフォニエッタが望んでいた形となり、前者はパリ国立高等音楽院で学んだ、既に出版社とも契約がある、言うなれば、エリートの作曲家。もう一人は過激な作品を書くフランスの音楽教育、音楽家育成のルートから外れているものの個性的な活動を行なっている作曲家。ともに、願ってもいない音楽的状況が生まれた。それに加えて、教育者としても高名で、既に日本でもその作品が知られているEdith Canat de Chizyの作品を加えて、フランス側の作品を確定した。それに対する日本側はまず、個性的な活動を展開している、金子仁美、前述のPEPINと類似した経歴で年齢層も近接している、平川加恵の作品を並べた。

現代音楽の演奏会は様々な視点からプログラミングがされているが、世界的にその活動が知られている「東京シンフォニエッタ」がこの時期にこのような独自の視点から挑戦的なプログラミングをすることは音楽界のみならず社会的に大きな発信力があることは疑いのない所であり、皆様には、ぜひ、この音楽会を聴いていただき、現代フランスの最前線の作曲家と日本の作曲家の作品を堪能していただきたい。

音楽監督 板倉康明

金子仁美 Hitomi Kaneko

東京生まれ。桐朋学園大学研究科在籍中にフランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院作曲科に留学。1988年日仏現代作曲コンクール第1位、1990年第59回日本音楽コンクール作曲部門(管弦楽)第1位。CDには2004年に発表された金子仁美作品集『スペクトラル・マターズ—現代日本の作曲家シリーズ27』などがある。楽譜は全音楽譜出版社より刊行されている。現在、桐朋学園大学教授、東京藝術大学非常勤講師。



© Didier Loire

平川加恵 Kae Hirakawa

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学大学院修士課程修了。第20回芥川作曲賞ファイナリスト。第81回日本音楽コンクール作曲部門第1位。岩谷賞(聴衆賞)、明治安田賞受賞。第29回現音作曲新人賞において富樫賞、聴衆賞受賞。現在、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校教諭。



カミーユ・ペパン Camille Pepin

1990年生まれ。パリ国立高等音楽院卒業。2015年より欧州各地のコンクールにて数々の入賞歴を持ち、この世代で最も活躍している作曲家の一人。作品はフランス国立放送管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、BBC交響楽団、ミッコフランク、スラトキン等によって演奏されている。またピカルディ管弦楽団(2018-2019)、フザンソン音楽祭(2019-2020)のレジデンス作曲家として活動。楽譜はビョード、デュラン、ルモワンヌ社より出版されている。エスケシュ、コネツソン、ダルバヴィに師事。



© Natacha Colmez-Collard

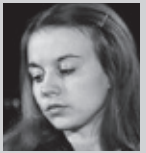
エディット・カナ・ドウ・シジ Édith Canat de Chizy

1950年生まれ。パリ・ソルボンヌにて美学、考古学、哲学を学んだ後、パリ国立高等音楽院で作曲を学ぶ。多くの受賞歴を誇り、作品はパリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団、エッセン・パッサハ等によって演奏されている。2004年フランス芸術院会員となり、2016年より代表を務める。特筆すべきは女流作曲家として初めてアンスティテュ・フランセの会員となる。レジオンドヌール 勲章受賞。2017年よりパリ市立音楽院で教鞭を取る。



リザ・ウット Lisa Heute

1991年生まれ。リヨン国立高等音楽院で作曲、ブルゴーニュ音楽院でアコーディオンを学ぶ。自身もアコーディオン奏者として活動すると同時に作曲家としてアルゼンチン出身の父親や多種多様なジャンルから影響を受けた独自の美学を持つ作品を次々と発表し近年注目されている。プレザンス音楽祭をはじめとする多くの音楽祭への招待、参加、さまざまなコンクールでの受賞など注目を集めている。



2021年12月23日 [木] 19:00開演(18:30開場) 東京文化会館 小ホール

全席自由(税込) 一般 ¥4,000 学生 ¥2,000

◎チケット予約

東京文化会館チケットサービス **03-5685-0650**

イープラス……………<https://eplus.jp>(PC&携帯)

チケットぴあ……………<https://t.pia.jp>(PC&携帯) 0570-02-9999(音声自動応答)
Pコード[207-601]

ローソンチケット……………<https://l-iike.com/>(PC&携帯) Lコード[34104]

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい。①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等ではできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③演奏中は入場できません。④未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。⑤場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑥ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑦他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

新型コロナウイルス感染防止へのご協力をお願い

(最新のより詳しい情報は、弊社ホームページにてご確認いただけます)

マスク常時着用、咳エチケットの実践、入場時の手指消毒、検温へのご協力をお願いします。検温で37.5℃以上が検知された場合は入場をご遠慮いただきます。出演者へのプレゼント、面会はお控えください。感染防止策実施のため、時間に余裕を持ってご来場ください。公演当日、以下に該当されるお客様はご来場をお控えください。*37.5℃以上の発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。*新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある。*過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴、及び当該在住者との濃厚接触がある。